



当事者が語る！「若年性認知症フォーラム」を開催

生駒市は、本人が抱える不安や思い、希望について理解を深めるとともに、若年性認知症の人にやさしいまちづくりを今後どのように進めていくかについて考える機会として、若年性認知症の当事者でネットヨタ仙台に勤務する丹野智文さんを迎え「若年性認知症フォーラム」を1月23日（火）に生駒市コミュニティセンター文化ホールで開催します。

65歳未満で発症する若年性認知症は、働き盛りや子育て等の時期に発症するため、本人やその家族への心理的・経済的負担が大きいにもかかわらず、まだまだ社会の認識が不足しているのが現状です。丹野さんは、39歳のときに若年性アルツハイマー型認知症と診断されましたが仕事を続けておられます。「認知症とともに生きる」と題し自身の経験を踏まえたお話をさせていただきます。

■ 若年性認知症フォーラム

- ◇ 日 時 1月23日(火) 10:00～12:00
- ◇ 場 所 生駒市コミュニティセンター文化ホール
- ◇ 内 容
 - ・生駒市の現状報告及び問題提起
(生駒市地域包括ケア推進課長 田中明美)
 - ・奈良県の若年性認知症に関する取組
(奈良県若年性認知症サポートセンター室長 尾崎京子さん)
 - ・講演 「認知症とともに生きる」(丹野智文さん)

◇ 丹野智文さん

43歳、ネットヨタ仙台勤務。39歳の時、若年性アルツハイマー型認知症と診断され、会社の理解のもと営業職から事務職に変わり仕事を続けている。

- ・認知症本人のためのもの忘れ相談窓口「おれんじドア」代表
- ・日本認知症本人ワーキンググループメンバー
- ・公益社団法人認知症の人と家族の会宮城県支部会員

- ◇ 後 援 厚生労働省近畿厚生局、奈良県



丹野智文さん

■ 若年性認知症

厚生労働省の「若年性認知症の実態等に関する調査結果の概要」（2009年3月）によると全国における若年性認知症者数は3.78万人と推計されています。「奈良県若年性認知症に関する実態調査」（2012年3月）によると、県内在住の若年性認知症（疑いのある人を含む）の方で、医療機関を受診している方あるいは介護保険サービスや障がい福祉サービス等を利用していると回答があったのは、延べ877人とされています。

この件に関する報道関係からのお問い合わせ

生駒市地域包括ケア推進課（課長 田中、課長補佐 知浦） ☎0743-74-1111(内線 461)